



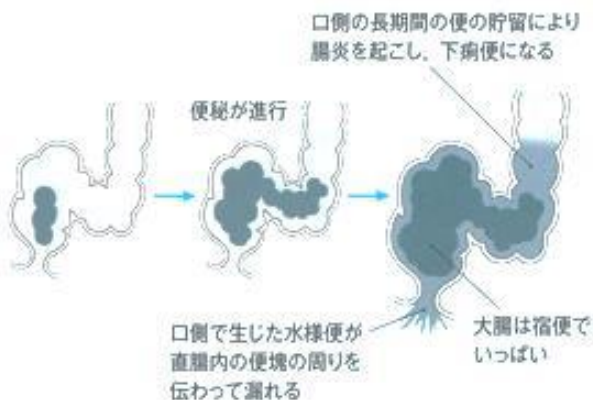
すぐに活かせるベッドサイドケア

ベッドサイドケアのポイントを
専門分野から紹介します！



溢流性便秘を見逃さない！

流性便秘のイメージ



平山さおり: 緩和ケア Vol.28 No4. P275 青海社. 2018 引用改変

緩和ケア認定看護師

オピオイド誘発性便秘(OIC)に有効なスインプロロイクの内服によりOICによる便秘の改善が見込まれます。しかし、便秘の問題は、オピオイドだけが原因ではありません。ひどい便秘の場合、溢流性便秘を見逃さないことが必要です。溢流性便秘は図1のように、便秘が進行し大腸に便塊がつまって宿便でいっぱいになり、口側の長期間の便貯留により腸炎をおこし口側で生じた水様便が直腸内の便塊の周りをつたって溢れます。患者さんは便秘のあと、下痢になったと言って下剤を飲むのをやめてさらにひどい便秘になります。「何日も便がでていないのに急に下痢になっていませんか？ひどい便秘の可能性があります」と聞いてみましょう。経直腸的処置などが必要になります。

血糖値に影響を及ぼす要因

糖尿病看護認定看護師

「病院食しか食べてないのに何で血糖値が高いの？」と聞かれることはないでしょうか？血糖値に影響を及ぼす要因は食事だけではなく、下記のイラストのように、様々な要因があります。血糖値だけをみるのではなく患者さんの「生活」を捉えて、血糖変動の要因を患者さんと一緒に考えていくことが重要です。

血糖値が上昇する主な要因

- 体脂肪の増加
サルコペニア
- 過食・間食
早食い
- 活動量が
少ない
- インスリン注射の量、部位、
インスリンボールの有無など
- 経口血糖降下薬の飲み忘れ

血糖値が降下する主な要因

- 減量による
体脂肪の低下
- 運動の成果による
骨格筋量の増加
- 少食や糖質制限食
- 活動量の増加
- インスリン注射の増量
- 経口血糖降下薬の
過剰投与など